

# 令和5年度 現地検討会実施状況

## (森林計画)

(名)

開催数：32

国有林	477
都道府県	28
市町村	78
森林組合	7
林業事業体（森林組合を除く）	20
研究機関	23
その他	100
合計	733

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
アベツの森の草本植生調査	6月12日	日高北部森林管理署 平取町アイヌ文化振興公社	平取町内 亜別国有林	国有林	7名	アイヌの伝統的な生活空間 であった森林を再生する。	左記目的を達成するための関係者との合同による草本植生調査(定期的に調査を実施する。)	
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	3名			
				合計	10名			
21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画を推進するためのゾーニングの検討	6月20日	日高北部森林管理署 平取町 平取町アイヌ文化振興公社	(平取町内の国有林) 荷負国有林、長知内国有林	国有林	6名	21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画を推進するためのゾーニングを、次期、地域管理経営計画に反映させる。	左記、目的を達成するための関係者との共同現地調査。荷負国有林については、比較的に自然度の高い天然林が残存していた。	
				都道府県	名			
				市町村	1名			
				森林組合	名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	1名			
				その他	5名			
				合計	13名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画を推進するためのゾーニングの検討	6月21日	日高北部森林管理署 平取町 平取町アイヌ文化振興公社	(平取町内の国有林) 長知内国有林	国有林	6名	21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画を推進するためのゾーニングを、次期、地域管理経営計画に反映させる。	左記、目的を達成するための関係者との共同現地調査。長知内国有林については、人為的干渉を受けている森林の比率が高いが、自然度の高い天然林もパッチワーク状に残っていることを確認・共有した。	
				都道府県	名			
				市町村	2名			
				森林組合	名			
				林業事業者（森林組合を除く）	名			
				研究機関	1名			
				その他	3名			
合計	12名							
日高山脈中央部森林生態系保護地域のうち幌尻原生林の調査	6月21日	日高北部森林管理署 平取町 平取町アイヌ文化振興公社	平取町内 岩内国有林1132林班 (幌尻原生林)	国有林	5名	21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画において、基本理念として掲げている北海道古来の森林をイメージする。	左記目的を達成するための関係者との合同による原生的な天然林の調査を行った。ウダイカンバ、シナノキ、カツラ等の大木を多数確認し、人の手が入る以前の北海道の森林の姿を関係者間で共有することができた。	
				都道府県	名			
				市町村	3名			
				森林組合	名			
				林業事業者（森林組合を除く）	名			
				研究機関	1名			
				その他	5名			
合計	14名							
21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画を推進するためのゾーニングの検討	6月29日	日高北部森林管理署 平取町 平取町アイヌ文化振興公社	(平取町内の国有林) 亜別国有林、貫気別国有林	国有林	6名	21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画を推進するためのゾーニングを、次期、地域管理経営計画に反映させる。	左記、目的を達成するための関係者との合同現地調査。今後、施業の対象となる人工林や、保全すべき天然林等を確認・共有した。	
				都道府県	名			
				市町村	2名			
				森林組合	名			
				林業事業者（森林組合を除く）	名			
				研究機関	1名			
				その他	6名			
合計	15名							

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
アベツの森の草本植生調査	7月12日	日高北部森林管理署 平取町アイヌ文化振興公社	平取町内 亜別国有林	国有林	8名	アイヌの伝統的な生活空間 であった森林を再生する。	左記目的を達成するための関係者との合同による草本植生調査(定期的に調査を実施する。)署では、若手を中心とした調査チームが担当している。	
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業体(森林組合を除く)	名			
				研究機関	名			
				その他	2名			
				合計	10名			
アベツの森の草本植生調査(定期調査)	8月9日	日高北部森林管理署 (株)平取町アイヌ文化振興公社	平取町内 亜別国有林	国有林	7名	アイヌの伝統的な生活空間 であった森林を再生する。	左記目的を達成するための関係者との合同による草本植生調査(定期的に調査を実施する。)署では、若手を中心とした調査チームが担当している。	
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業体(森林組合を除く)	名			
				研究機関	名			
				その他	1名			
				合計	8名			
アイヌ文化における草本類の利用に関するヒアリング	8月17日	日高北部森林管理署 (株)平取町アイヌ文化振興公社	平取町内 (株)平取町アイヌ文化振興公社	国有林	3名	アイヌ文化における草本類 の利用を把握する。	(株)平取町アイヌ文化振興公社のスタッフに、アイヌ文化における草本類の利用に関してヒアリングを行った。	
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業体(森林組合を除く)	名			
				研究機関	名			
				その他	2名			
				合計	5名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
樹群択伐天然更新施業 現地勉強会	9月5日	計画課	石狩森林管理署1130林班	国有林	32名	天然林の更新動態を模した 新たな施業方法である「樹群 択伐天然更新施業」につい て、理解を深めるため。	「樹群択伐天然更新施業」を試験的に実施し た現地において、当該施業を考案した森林総合 研究所北海道支所職員の解説を受け、施業実施 にあたっての疑問点・留意点について意見交換 を行った。	
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業者（森 林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	32名			
樹群択伐天然更新施業 現地勉強会	9月8日	計画課	石狩森林管理署1130林班	国有林	33名	天然林の更新動態を模した 新たな施業方法である「樹群 択伐天然更新施業」につい て、理解を深めるため。	「樹群択伐天然更新施業」を試験的に実施し た現地において、当該施業を考案した森林総合 研究所北海道支所職員の解説を受け、施業実施 にあたっての疑問点・留意点について意見交換 を行った。	
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業者（森 林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	33名			
多面的機能の持続的発 揮を図る多様な森林づ くり現地検討会	9月14日	上川北部森林管理署	士別市朝日町 朝日森林事務所2006林班	国有林	29名	森林の多面的機能発揮のた めの施業方法を検討する	班に分かれて主伐予定個所の林内を踏査し、 森林の生育状況を確認しながら今後の施業につ いての検討を行った。 最後に各班から施業の方向性について報告を受 けた。 「傾斜が急な個所の天然更新が良好なので小班 区画をして育成天然林として施業を行う」 「皆伐ではなく、複層伐を行って多段林化を図 る」等の意見が出された。	
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業者（森 林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	29名			

林分状況を把握し、どのような  
施業を行うか現地で議論

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
九州大学北海道演習林等の見学勉強会	9月14日	主催：十勝西部森林管理署東大雪支署 共催：九州大学農学部附属演習林 十勝東部森林管理署	北海道演習林 十勝東部署318林班	国有林	24名	多面的機能の持続的発揮を図る多様な森林づくりの一環として	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良広葉樹資源が減少する中で、ミズナラ小中径木を主体とする二次林を、密度や仕立て本数の違いにより後生枝の発生状況、成長量や形質の違いを比較し、将来価値の高い林分へと誘導するための広葉樹施業方法の勉強会を行った。</li> <li>・参加者からは「競争に負けると胴から後生枝が出てきて樹冠が枯れてくるのか？」等の質問やその他の意見があった。</li> <li>・元気な木には後生枝がないことから、今後、立木候補として選木してそれを残すよう周辺の弱った（弱るであろう）木を、搬出できるような道の設定と伐採木の選木が必要。</li> </ul>	
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業者（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	24名			
多面的機能の持続的発揮を図る多様な森林づくり現地検討会	9月22日	留萌北部森林管理署	天塩町 (六志内国有林20林班)	国有林	20名	森林の有する多面的機能の発揮を図るため、国有林においては針葉樹と広葉樹が混交した多様な樹種や樹齢で構成されていることから、天然力を活用した森林づくりの推進を図ることを目的とした現地検討会を開催し、職員の意識と知識の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な森林づくりを推進するための検討会を実施した。</li> <li>当日は、職員等が3班に分かれて現地林分を把握して、伐採方法や更新方法等について検討を行った。</li> <li>林業事業者等から伐採方法等の多くの意見をいただいた。</li> <li>今後も定期的に関係機関等も交えて意識や知識の向上及び情報の共有を図っていく考えである。</li> </ul>	
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業者（森林組合を除く）	3名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	23名			
令和5年度「多面的機能の持続的発揮を図る多様な森づくり」現地検討会	9月26日	空知森林管理署北空知支署	雨竜郡北竜町字竜西 恵岱別森林事務所部内 458林班に小班	国有林	19名	森林整備事業予定地において、伐採・更新方法の検討を行う。	4班に分かれて現況林分の評価を行った後、評価を踏まえた施業方法を検討した。検討にあたっては植栽木の残存方法とその配置等による天然更新の可能性や木材供給の観点からも考慮するなど、施業後の林相をイメージしながら相互議論を行った。検討した施業方法等を各班から発表し、疑問点や課題などについて議論・共有した。	
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業者（森林組合を除く）	2名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	21名			

ミズナラ二次林についての説明

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
令和5年度「多様な森林づくり」現地検討会	9月26日	留萌南部森林管理署	留萌南部森林管理署 三溪国有林2082お林小班	国有林 19名	人工林の中には天然力により広葉樹が混交している林分も多く見られることから、多様な森林へと誘導するため地況林況を適切に評価したうえで、施業方法について検討し天然力を活用した森林づくりの推進を図る。	施業方法等についての考え方を職員を3班に分けてそれぞれ①現況林分の評価②伐採方法・収穫調査方法③更新方法を検討しお互いの結果について発表するとともに、他の参加者（林業事業者・振興局等）との意見交換を行い検討会を実施した。	 
				都道府県 8名			
				市町村 1名			
				森林組合 1名			
				林業事業者（森林組合を除く） 5名			
				研究機関 1名			
				その他 1名			
				合計 33名			
樹群択伐天然更新施業現地勉強会	9月28日	計画課	上川北部森林管理署2069林班	国有林 47名	天然林の更新動態を模した新たな施業方法である「樹群択伐天然更新施業」について、理解を深めるため。	「樹群択伐天然更新施業」を試験的に実施した現地において、当該試験地を管理する森林技術・支援センターより解説を受け、施業実施にあたっての疑問点・留意点について意見交換を行った。	
				都道府県 1名			
				市町村 1名			
				森林組合 1名			
				林業事業者（森林組合を除く） 1名			
				研究機関 1名			
				その他 3名			
				合計 50名			
天然力を活用した森林づくり現地検討会	10月5日	主催：胆振東部森林管理署	むかわ町（福山国有林）	国有林 15名	伐採予定箇所において、現地の林況等を確認し、今後の施業方法について検討を行う。	参加者で班を3班編成、現地踏査を行い各班で今後の施業方法を検討、検討結果の発表を行った。発表後に意見交換、総括森林整備官より講評を行った。検討結果で共通していたのは『小班内で天然林化している区域は伐採区域から除外、造林木が優先している区域内で施業を行う。』であり、施業方法については定性間伐、複層伐、択伐と意見が分かれた。	
				都道府県 1名			
				市町村 1名			
				森林組合 1名			
				林業事業者（森林組合を除く） 1名			
				研究機関 1名			
				その他 1名			
				合計 15名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
えりも海岸の持続的な発展に向けたあり方に関する検討会	10月10日、11日	日高南部森林管理署	えりも町襟裳国有林	国有林	9名	えりも地区海岸防災林造成事業全体計画を作成するための施業方針を検討	<p>本数調整伐、樹下植栽、不成績造林地、混交林化しつつある林分などの各種課題に対する検討を有識者を交えて行った。</p> <p>本数調整伐については、「植栽密度が高いので、早いうちに強めの伐採率で実施したほうが良い」といった意見があった。</p> <p>今後は、現地で出された意見を取りまとめ全体計画の指針としていく。</p>	 <p>不成績造林地における原因の検討状況</p>
				都道府県	名			
				市町村	1名			
				森林組合	名			
				林業事業者（森林組合を除く）	名			
				研究機関	1名			
				その他	5名			
合計	16名							
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	10月12日	網走中部森林管理署	留辺蘂国有林 1009は林小班	国有林	20名	<p>「天然力を活用した多様な森林づくり」を円滑かつ着実に実施していくため、基本的な考え方や実践面での留意点などを整理し、今後の森林づくりに役立てる。</p>	<p>署の担当者等から基本的な考え方、検討のポイント、施業履歴、森林調査簿データ、過去及び直近の標準地データ、等の説明を行った後、3班に別れ現況林分を確認、施業方法を検討し発表を行った。</p> <p>発表内容は「伐採限度面積を超えないように沢を境に分割し、2回に分けて皆伐を行う」「カラマツは早めに伐採したいのでカラマツ多め林分を帯状又は抜き伐りで伐採する」「再造林箇所を増やさないように3回目の間伐を行う」「伐採後の植栽はトドマツが適していると思われる。やむを得ずカラマツ植栽の場合は野鼠対策が必要」「地がき等の地表処理を行えば広葉樹の更新は期待できる」「水源地から離れていること、希少野生生物も見られないことから、施業上の配慮は不要」等であった。</p> <p>また、本現地検討会の今後の開催方法について「広葉樹を残し伐採した箇所理想的に混交林化できた現地があれば見学したい」との意見が出された。</p>	 <p>署長より開会挨拶(上) 林内確認・検討風景(下)</p>
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業者（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
合計	20名							

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
天然林を活用した多様な森林づくり現地勉強会	10月17日	根釧東部森林管理署	根釧東部森林管理署 452よ林小班	国有林	22名	伐期を迎えた育成天然林の効率的、効果的な施業方法や生物多様性などに考慮した多様な森林づくりに関する知識の熟成を図るため	「天然林を活用した多様な森林づくり考え方と実践に向けた手引き」による林分の評価方法や樹群卓抜天然更新施業及び現況林分の施業履歴など説明を受けた後、当該林分において林分状況を踏まえた施業方法について意見交換を行った。 班を構成せず、小人数としたことで活発な意見交換が行われた。	
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	22名			
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	10月20日	空知森林管理署	由仁担当区 馬追国有林 5林班	国有林	10名	森林整備のコスト縮減の観点からも植栽費用等を抑える必要があり、天然力が旺盛な森林については、天然力を活用しつつ森林づくりを推進すべきである。今、多様な森林づくりにおいては、その山の向かう方向性をより総合的に判断し、森林づくりを計画する能力を醸成する。	現地は5は林小班トドマツ58年生（2.00ha）、5ほ林小班ストロブマツ61年生（8.64ha）、5へ林小班トドマツ44年生（2.94ha）の人工林において2グループに分かれ下記のとおり検討、討論し発表した。 ①現況の林分をどのように評価するか。 ②現況林分の評価を踏まえ、伐採するとすればどのような伐採方法とするか。 ③更新が発生する場合、どのように行い、またどのような手段で低コスト化が期待できるか。 ④今後どのように取り扱っていくべきか。事業を行うにあたってどのようなことに配慮すべきか。	 <div data-bbox="1944 751 2123 783" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現地概況について説明</div>
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	10名			
日高森林計画区の地域管理経営計画等の策定に関する地元意見交換会	10月21日	日高北部森林管理署	平取町本町 ふれあいセンターびらとり	国有林	20名	地域管理経営計画の策定に先立ち、森林計画の変更等の考え方を説明するとともに、地域の意見・要望を聴取する。	当署から次期地域管理経営計画等の考え方や当署管内の国有林野の管理経営を具体的に説明した後に、意見・要望の聴取と回答を行った。主な意見等として、アイヌ文化伝承のための北海道古来の森の再生の取り組みに係るもの、国立公園化に向けた登山口へのアクセス道の維持・管理、地域振興への支援等があった。意見交換の時間が超過するほど活発な発言が続いた。 概要は局HPに掲載済み。 <a href="https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/keikaku/other/R5ikenkoukankai.html">https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/keikaku/other/R5ikenkoukankai.html</a>	
				都道府県	4名			
				市町村	10名			
				森林組合	1名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	19名			
				合計	54名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
森林・林業・林産業活性化平取町議会議員連盟 令和5年度国有林視察	10月22日	森林・林業・林産業活性化日高町議会議員連盟	平取町岩内国有林1132林班 (幌尻原生林) 雨天により座学に変更 (ふれあいセンターびらとり)	国有林 9名	管内平取町議会の有志議員 に国有林を視察してもらい、 国有林野事業、地域の国有林 への理解を深めてもらう。	令和5年度は、平取町、平取アイヌ協会、北海道森林管理局の3者で締結している「21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画」に基づき、取り組んでいる「北海道古来の森の再生」の目標とする姿の一つである幌尻原生林(森林生態系保護地域の一部)を視察する予定であったが、悪天候のため座学に変更し、幌尻原生林を映像で紹介するとともに、10/21に開催した「日高森林計画区の地域管理経営計画等の策定に関する地元意見交換会」の資料の説明等を行った。遠藤平取町長及び北海道開発局の鶴川沙流川河川事務所長も参加した。	
				都道府県 名			
				市町村 14名			
				森林組合 名			
				林業事業者(森林組合を除く) 名			
				研究機関 名			
				その他 1名			
合計 24名							
森林・林業・林産業活性化日高町議会議員連盟 令和5年度国有林視察	10月25日	森林・林業・林産業活性化日高町議会議員連盟/日高北部森林管理署	日高町日高自然の森日高自然観察教育林ほか	国有林 8名	管内日高町議会の有志議員 に国有林を視察してもらい、 国有林野事業、地域の国有林 への理解を深めてもらう。	令和5年度は、令和6年の国立公園指定に先立ち、公園区域に含まれることになる日高自然の森日高自然観察教育林や平成28年の台風災害で国道の代替道路として機能したホロナイ林道、当該林道周辺の森林整備事業実施箇所、国道に面した治山事業施工箇所等を視察した。当該視察の趣旨も踏まえ、国立日高青少年自然の家所長や日高道路事務所長も参加し、挨拶をもらった。	
				都道府県 名			
				市町村 14名			
				森林組合 名			
				林業事業者(森林組合を除く) 名			
				研究機関 名			
				その他 2名			
合計 24名							
天然力を活用した多様な森林づくり検討会	11月16日	日高北部森林管理署	平取町上貴気別国有林1218林班ろ小班	国有林 21名	天然力を活用した多様な森林づくりの考え方による、職員意識・技術の向上と民有林関係者への情報提供による支援	広葉樹が優勢になりつつあるカラマツ人工林について、天然力を活用した多様な森林づくりの考え方に基づく今後の取扱いについて、民有林関係者を交えて、現地林分を踏査した上で議論した。平取町からは副町長も参加した。	
				都道府県 4名			
				市町村 3名			
				森林組合 2名			
				林業事業者(森林組合を除く) 2名			
				研究機関 名			
				その他 名			
合計 32名							

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
「天然力を活用した多様な森林づくり」現地検討会	11月29日	日高南部森林管理署	新冠町若園国有林	国有林	17名	多様な森づくりの定着化、 質の向上	主伐時期を向かえた林分において、今後どのように事業を進めていくか現地においてグループ討議を行い、その後考察を行った。	 <p>主伐時期を向かえた林分での現地グループ討議状況</p>
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	17名			
21・世紀アイヌ文化伝承の森プロジェクト作業部会	2月1日	北海道森林管理局 平取町 平取町アイヌ協会	平取町イオル文化交流センター研修室	国有林	8名	局、町、協会の3者協定である「21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画」を推進するための事務調整を行う。	21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画に係る作業部会であり、2/20に開催の同推進会議の議事等の調整、同日階催予定のフォーラムの調整等を行った(局から企画課長出席)。	
				都道府県	0名			
				市町村	6名			
				森林組合	0名			
				林業事業体（森林組合を除く）	1名			
				研究機関	6名			
				その他	5名			
				合計	26名			
21世紀アイヌ文化伝承の森プロジェクト推進会議	2月1日	北海道森林管理局 平取町 平取町アイヌ協会	平取町二風谷イオル文化交流センター研修室	国有林	9名	局、町、協会の3者協定である「21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画」を推進するための意思決定等を行う。	21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画に係る推進会議であり、年1回開催(局長及び企画課長出席)。令和5年度の活動報告、令和6年度の活動計画等について承認された。	
				都道府県	0名			
				市町村	9名			
				森林組合	0名			
				林業事業体（森林組合を除く）	1名			
				研究機関	6名			
				その他	16名			
				合計	41名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
第13回 平取町森林整備計画 推進会議	2月5日	平取町	平取町役場会議室	国有林	1名	平取町森林整備計画の樹 立・変更等についての助言等	協議事項 ①令和5年度の随時変更案等について協議 ②森林経営計画のR4実績とR5計画 ③森林環境贈与税の活用に向けた基本方針 ④森林環境贈与税の活用方法	
				都道府県	7名			
				市町村	4名			
				森林組合	4名			
				林業事業者（森 林組合を除く）	2名			
				研究機関	0名			
				その他	0名			
				合計	18名			
21世紀アイヌ文化伝 承の森協定周年記念 フォーラム	2月20日	北海道森林管理局 平取町 平取町アイヌ協会	平取町二風谷 沙流川歴史館レクチャー ホール	国有林	19名	局、町、協会の3者協定で ある「21世紀・アイヌ文化 伝承の森再生計画」の協定締 結10周年を記念し、これま での取組を振り返り、今後を展 望するためのフォーラム	「21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画」 協定締結10周年を記念するフォーラムであり、 署長から経緯、現在の取組、今後の展望につい て説明したほか、関係者からの現況報告や特 別講演などを行い、局長、町長、協会長による 三者鼎談で締めくくった。これまでの取組を土 台にして、三者で連携して取組を発展させてい く方向で合意 ※出席者数は事前登録によるもので、実際に は、さらに50名ほど来場している。	
				都道府県	1名			
				市町村	8名			
				森林組合	0名			
				林業事業者（森 林組合を除く）	4名			
				研究機関	6名			
				その他	22名			
				合計	60名			
民有林支援に係る振興 局担当者との打ちわ せ	3月4日	日高北部森林管理署 日高振興局平取森林室	平取森林室	国有林	2名	沙流川流域における民有林 の課題についての意見交換 (令和6年度の取組に向けて)	森林室長ほか、道の担当者と地域林業の課題 について意見交換 ①搬出間伐について(立地条件の制約等) ②バイオマスボイラーの現況について ③ICT化に向けた検討会の開催について ④国有林でのオヒョウ等の分収造林について ⑤地域支援について(平取町の植樹祭など)	
				都道府県	4名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業者（森 林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	6名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
多面的機能の持続的発揮を図る多様な森林づくり 「膳棚国有林見学会」	3月13日	檜山森林管理署	檜山森林管理署 奥湯ノ岱担当区 膳棚国有林 2282林班	国有林 16名	伐期を迎えた育成天然林の効率的、効果的な施業方法や生物多様性などに考慮した多様な森林づくりに関する知識を深める。	「天然林を活用した多様な森林づくり考え方と実践に向けた手引き」による林分の評価方法や、樹群択伐天然更新施業及び現況林分の施業履歴など説明を受けた後、当該林分において林分状況を踏まえた施業方法について意見交換を行った。  局：調査官、計画課長外3名 檜山署：11名	 
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業者（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 16名			